

## 病院機能評価 機能種別版評価項目 3rdG:Ver.2.0 解説集の訂正

内容を訂正するとともに、ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。  
対象の機能種別：一般病院1、一般病院2、リハビリテーション病院、  
慢性期病院、精神科病院、緩和ケア病院

### 一般病院1※

頁	箇所	訂正前	訂正後	訂正日
94	2.2.13 輸血・血液製剤投与を 確実・安全に 実施している	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>患者の輸血履歴、検査履歴は保存され、輸血療法後の効果の検証や感染症検査もされていれば適切である。</p>	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>患者の輸血履歴、検査履歴は保存され、輸血療法後の効果の検証や、<u>医師が必要と認める場合には感染症検査も</u>されていれば適切である。</p>	2019年 6月10日

※リハビリテーション病院 (P.92/2.2.12)、慢性期病院 (P.96/2.2.13)、精神科病院 (P.100/2.2.15) についても同様に訂正いたします。

### 一般病院2

頁	箇所	訂正前	訂正後	訂正日
98	2.2.11 輸血・血液製剤投与を 確実・安全に 実施している	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>(前略)</p> <p>輸血後感染症や生物由来製品感染等救済制度について、患者・家族に説明されているとともに、輸血前後の感染症検査が実施されていることが望ましい。輸血後感染症の検査は、転院などもあって完全実施は難しい面があるが、極力実施されるような仕組みが</p>	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>(前略)</p> <p>輸血後感染症や生物由来製品感染等救済制度について、患者・家族に説明されているとともに、<u>医師が感染リスクを考慮し、必要と認める場合には、輸血前後の感染症検査が実施されていることが求められる。</u>輸血後感染症の検査は、転院などもあって完全実</p>	2019年 6月10日

頁	箇所	訂正前	訂正後	訂正日
		用意されていることが重要である。	施は難しい面があるが、 <u>必要な場合に実施されるような仕組みが用意されている</u> ことが重要である。	

## 緩和ケア病院

頁	箇所	訂正前	訂正後	訂正日
96	2.2.14 輸血・血液製剤投与を 确实・安全に 実施している	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>輸血療法後の効果の検証がされていれば適切である。副作用の発生が認められた場合は、速やかに報告しなければならない。輸血療法後の感染症検査については、患者の状況に応じて判断する。</p>	<p>●輸血療法後の感染症検査</p> <p>輸血療法後の効果の検証がされていれば適切である。副作用の発生が認められた場合は、速やかに報告しなければならない。輸血療法後の感染症検査については、患者の状況に応じて<u>医師が必要と認める場合に実施する。</u></p>	2019年 6月10日

以上